

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
事業 12	事業名	(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言に基づいて、伝統工芸職人の新たな商品づくりに向けた活動を支援するため、顧客ニーズを考慮した商品開発手法などを学習する機会を提供します。</p> <p>マーケットに触れる機会が多くない職人や工房では、自己完結型の商品に陥る危険性があります。</p> <p>そのため、技術的側面に加え、マーケットの声を傾聴するとともに、それをどのように商品開発に生かしていくのかという教育の場が必要となります。これ以外にも、販売促進に向けた知識をはじめ、ビジネスとして展開できるまでの教育機会を提供します。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■ 専門家による商品開発や指導会等の場の提供 職人等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設ける。 (ニューウェーブしずおか創造事業において充当) 1回</p>	
				進捗率等	H28.9.1 現在	1回	100(%)
				補足事項		H29.3.31 現在	1回
	成果目標	職人向け指導会等開催回数 1回		事業結果	<p>■ 専門家による商品開発や指導会等の場の提供 職人等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設けた。 (ニューウェーブしずおか創造事業において充当) 1回 武蔵野美術大学教授 平成29年3月実施</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	産業振興プラン位置付け	中施策	新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■ 専門家による指導等の場の継続とレベルアップ 商品開発指導からステップアップし、マーケティング手法により販路開拓等を学ぶレベルを上げていく。</p>		
		政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 13	ものづくり 基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業13) 国、県等に関する 補助制度等の情報提供支援		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	この事業は、中小製造事業者の事業展開に対して、適時的確な補助制度等に関する情報を提供します。 また、中小製造事業者が段階的な成長を遂げていくための補助制度プランの提示をはじめ、市ホームページにおける補助制度の検索システムや地域金融機関への説明会の開催などを検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国や県等の補助制度に関する情報の収集 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。</li> <li>■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の計画 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成29年3月に開催することを計画した。</li> </ul>
				進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
					H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。</li> <li>■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の計画 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成29年3月に実施した。</li> </ul>	
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報提供方法の検討及び提供の実施 情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</li> </ul>	
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業14) 企業OB技術者等の活用事業		予算額	763千円			
				決算見込額	669千円			
	事業概要	<p>多種多様な業種が混在する本市のものづくり産業においては、優れた技術者等が多数潜在しています。</p> <p>また、第一線を退いた技術者等が有する経験や知見は、中小製造事業者にとって、技術的課題等の解決に関し、有効な実務的手段と捉えることができます。</p> <p>この事業では、こうした技術者等と中小製造事業者を結び付ける機会を増やす取組を進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p>		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理		事業結果	<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p> <p>実施の結果、各種課題のうち、特に人手不足に対する対応が特に求められていることが判明した。</p> <p>■市内企業と人材の交流会の開催</p> <p>平成29年3月、ポリテクセンター静岡において、市内の中小製造事業者と人材の交流会を開催し、53件の面談が行われ、3社3名のマッチングが実現した。</p> <p>■首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーの開催</p> <p>首都圏在住の企業OB技術者等の掘り起こし及び静岡への関心度合の把握等のため、平成29年3月、東京でセミナーを2回開催した。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>■人手不足解消に向けた対応</p> <p>中小製造事業者の喫緊の課題である人手不足の解消に向け、「市内企業と人材の交流会の開催」は引き続き必要であるが、スピーディーな対応をするため、交流会の開催だけではなく、中小製造事業者が直接、市内の製造業系の人材育成・養成機関との関係を作り、直接やり取りする仕組みづくりが必要である。</p> <p>■市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業とのマッチング会の開催</p> <p>平成28年度の事業を受け、平成29年度は市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業との間のマッチング会を開催し、具体的な技術的課題等の解決に向けた事業を実施したいと考えている。</p>		
		大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。					
		中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出					
産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保	価値	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>				
	基本方針	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。						
	基本施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 15	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度			
	事業名	(事業15) 製造業部会等との連携推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	この事業は、市内中小製造事業者への支援を拡充させるため、市内に立地する企業等との情報及び意見の交換を実施します。 具体的には、静岡商工会議所の製造業部会等との連携を図り、これによって得られた情報等をもとに、支援事業のブラッシュアップを実施します。また、中小及び大手企業に対しては、地域産業の振興への更なる推進に向けて、理解促進を求めていきます。		取組状況	H28.9.1 現在	■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。	
		補足事項			進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
						H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	製造業部会等との連携による各支援制度のブラッシュアップ		事業結果	■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	■静岡商工会議所からの行政要望に対する検討及び回答 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望に対して検討を行い、検討結果について回答した。	
		大施策				産業振興プラン位置付け	基本方向
		中施策		基本方針			
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		■静岡商工会議所 製造業部会等との情報交換の実施等 製造業部会を含め、静岡商工会議所と本市支援制度に関する情報交換を引き続き実施するとともに、支援制度等に係る課題整理を行っていく。		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係			その他(特記事項)			

事業 16-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討		予算額	336千円			
				決算見込額	192千円			
	事業概要	この事業では、今後のものづくり産業の見通しについて、本市のものづくり産業に関する工業統計や産業連関表などを利用し、支援事業の企画立案等に資するため、将来動向に係る基礎データの蓄積と予測モデルの構築を検討します。		取組状況 H28.9.1 現在	<p>■将来動向等に関する基礎資料の集積 今後の本市のものづくり産業の施策形成等に向け、本市のものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めている。</p> <p>①事業期間 平成28年4月～平成29年3月 ②対象大学 静岡産業大学 ③参加人数 教授 ④事業経費 報償費等 ⑤その他 調査研究部会との連携協調など</p>			
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	将来動向に係る基礎データの蓄積及び予測モデルの構築		事業 評 価	事業結果	<p>■ものづくり産業に関する考察の実施 平成28年度の実施としては、本市のものづくり産業について雇用の観点から業種毎のトレンドや将来予測、また製造業の生産性について考察した。 本調査結果から、「民生用電気機器」の生産は、市内で「プラスチック製品」等の雇用を誘発すること、また「ロボット」など「特殊産業機械」は雇用誘発力が最も大きい産業であることが明らかになった。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■統計の整備に伴う調査・考察の実施 平成29年度に平成23年静岡市産業連関表が整備される予定であることから、それらを用いてより近年を対象とした調査・考察を行う必要がある。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	この事業では、本市の強みを生かしたものづくり産業の連携をもとに、本市のものづくり産業の生き残り戦略に関して検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画に掲げる事業の進捗管理</p> <p>本市ものづくり産業の振興を図るためには、本市の強みをさらに強化することで地域間競争に対応を図ることが重要である。本市の強みについて、従業者を基本に捉えた場合、電気機械器具製造業や食品製造業などが地域を支える基盤産業といえる。</p> <p>一方、古くから地域で培われた伝統工芸をはじめ、造船、金属機械、家具等の木材加工業なども、本市のものづくり産業を捉える上で重要な業種である。</p> <p>本市としては、こうした地域を支える基盤産業や地場産業などが抱える課題への対応を図るため、ニーズへの支援策を展開することで、それぞれの業種分野が成長していく環境を醸成することが重要であり、それらに対応するため、平成27年度から平成30年度の4か年の計画として、「第2次ものづくり産業振興基本計画」を策定し、全42事業の平成27年度の進捗状況について調査した。</p>		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	地域間競争に打ち勝つための戦略的方策の検討		事業結果	事業評価	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画の進捗管理</p> <p>本基本計画に掲げる全42事業の効果的な推進に向けて進捗管理を実施し、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>■ものづくり産業界との関係構築の強化</p> <p>ものづくり産業界への支援展開は、第3次総合計画に掲げる人口70万人の維持に資するとともに、本市が地域間競争に勝ち抜くための重要な施策である。そのため、関係業界のニーズや動向を迅速かつ的確に把握することが求められている。こうしたことから、ものづくり産業界との関係性を更に強めていくことが重要である。</p> <p>■第3次基本計画策定に向けた検討</p> <p>平成31年度からの第3次基本計画の策定に向け、産業界の近年のトレンド等を踏まえ、事業内容の見直し等について、審議会に諮問して検討する。</p>					
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 16-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度			
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-3) ものづくり先進都市等に関する調査研究		予算額	103千円		
				決算見込額	84千円		
	事業概要	この事業では、本市ものづくり産業の展望を見据える上において、先進都市等の動向などを調査研究し、今後の事業展開などに役立てていくための知見の収集と分析を実施します。		取組状況	H28.9.1 現在	<b>■視察調査先の検討</b> 事業16-1 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討への知見の蓄積、また伝統産業の振興に係る知見収集等の観点から、視察調査先を検討する。	
				進捗率等	H28.9.1 現在		(%)
	補足事項			H29.3.31 現在	(調査都市数) 1都市(門真市) 100(%)		
	成果目標	先進視察都市数 1都市/年		<b>■大阪府門真市の調査研究実施概要</b> 大阪府門真市はパナソニックが本社を置き、製造業の従業員数の割合が、静岡市の倍以上あるなど製造業を主たる産業とするまちである。同市のものづくり企業の連携・交流を図る取組みや企業OB等からなる中小企業サポートセンターの活動を通じた、同市における生産性向上の取組みについて調査研究を実施した。  ①調査日 平成29年3月1日(水) ②調査先 門真市産業振興課 門真市中小企業サポートセンター ③実施者 産業振興課職員(2人) 静岡産業大学経営学部 教授 計3人			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				事業結果	
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価  次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 16-4	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-4) エネルギー需要状況等に関する調査研究		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	この事業では、生産活動に不可欠なエネルギーの需給について、市内企業の自家発電能力などの現状把握をはじめ、今後の課題と対応策等に関し、静岡商工会議所製造業部会及び関連企業などの協力を得ながら調査研究を進めます。		取組状況	H28.9.1 現在	<産業政策課 新産業係> (冷熱利用についてのヒアリング調査) ■H27年度の調査結果を踏まえ、市内事業者に対し、冷熱利用についてヒアリング調査を実施し、利活用の可能性を探る。
						<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討 市内企業の自家発電の現状把握方法について検討を行う。
						補足事項
	成果目標	現在のエネルギー需要の把握及び今後のエネルギー確保に向けた方策の整理		事業結果	H29.3.31 現在	(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価			<産業政策課 新産業係> (冷熱利用についてのヒアリング調査) ■市内事業者5者に対し冷熱利用の意向調査を実施した。
		大施策				<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討継続 市内企業の自家発電の現状把握方法について継続して検討を行った。
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<産業政策課 新産業係> ■冷熱利用は初期投資額、事業用地などから実現困難と判断。 今後は、現在取り組んでいるエネルギー施策である水素エネルギー利活用やエネルギー地産地消事業などに沿った取り組みについて検討を行っていく。		
	基本方針			<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討継続 市内企業の自家発電の現状把握方法について継続して検討する。		
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 17-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>地場産品の開発や販売促進については、顧客ニーズの把握と分析に加え、どのような販路を経由して消費者の手元に届けていくのが重要となります。</p> <p>こうした点に関する調査結果については、地場産品の開発や販売促進などへの活用を図り、成果として、地場産業関係事業者の売上げ向上に結び付くように努めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行うに際して消費者ニーズやウオンツを把握するため、アンケート調査を実施した。</p> <p>1回(台東区: 2k540) (2回予定)</p>		
					進捗率等	H28.9.1 現在	1回 50(%)	
						H29.3.31 現在	3回 150(%)	
	成果目標	首都圏等における調査実施回数2回		事業評価	事業結果	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行う場において、消費者ニーズやウオンツまた地元商品に係る意見等を把握するため、聞き取りによるアンケート調査を実施した。</p> <p>計2回(台東区: 2k540 新宿区: 東京展示会)</p> <p>■静岡ひきものプロジェクトで東京インターナショナルギフトショーに出展し、市場調査を行った。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			事業評価	事業結果	<p>■調査の多様化と充実化</p> <p>首都圏でのアンケート調査により消費者ニーズやウオンツの把握等市場動向の把握はある程度できたが、調査人数の増加や、幅広い年齢層への調査でより効果的な市場調査としていく。</p>
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進					
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	事業結果	<p>■調査の多様化と充実化</p> <p>首都圏でのアンケート調査により消費者ニーズやウオンツの把握等市場動向の把握はある程度できたが、調査人数の増加や、幅広い年齢層への調査でより効果的な市場調査としていく。</p>			
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)					

事業 17-2	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>地場産業界の木工分野では、木地等の原材料調達が困難となりつつあるため、今後の商品製造が懸念されます。</p> <p>このような状況を回避するためにも、今後は、静岡大学農学部が取り組む木地の代替素材に関する研究に着目し、地場関連の製造事業者とも協力しながら、これに取り組めます。</p> <p>こうした取組に成果を出すことができれば、代替木地の開発、生産、使用との関連から、これまで市外に発注していた部分を市内に取り込むことができるため、市内における生産活動の連鎖から、経済波及効果にも期待が寄せられます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■木工・竹分野における原材料の実態を調査・把握</p> <p>■業界と一体となった調査活動の推進 地場産業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、協議を行い調査を進める予定</p>
				進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	<p>■漆器、下駄、竹分野等における原材料の実態を調査、把握</p> <p>■業界団体と意見交換を実施 地場産業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、協議を行い他産地の事例の調査を実施</p> <p>■竹素材の素材研究の実施 竹製品業界と協働し竹素材の破砕等による素材研究を実施</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■調査活動に対する現場調査等の実施 協議による調査活動から、実際に代替素材等を活用、あるいは検討している他の産地等に実際に訪問し調査研究を行う</p> <p>■静岡商工会議所 新産業開発振興機構と連携し、産学官のノウハウを活用していく。</p>
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	その他(特記事項)			
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係					

事業 17-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度			
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	地場産業については、後継者不足や売上げ不振などもあり、その先行きが懸念されます。この事業では、各種の支援事業を実施する一方で、特に伝統的工芸品の製作に従事する職人やその関連業界について、どのような支援の在り方が望まれるのかなどを検討します。		取組状況	H28.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現行事業の再検討と調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、業界と顔の見える関係を維持し、業界が何を求めているのかを理解し事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業の再構築を図る。</li> <li>■ 他都市、他産地の事例を調査研究 堺市への視察を通じて、同市の地場産業に対する支援施策の取組の調査及び現状視察並びに同市の線香と本市の挽物の連携による販売戦略の検討を実施した。(H28.8.1~8.3)</li> </ul>	
		補足事項			H28.9.1現在	調査研究の実施 実施	
					H29.3.31現在	他産地の調査研究の実施 実施	
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現行事業の再検討と調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、再検討を実施し、事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業に係る調査研究を実施した。</li> <li>・ 後継者育成事業(クラフトマンサポート事業)においては、業界の要望により若手職人の業界への定着支援を強化した。</li> <li>■ 静岡挽物のあり方について調査研究 東京インターナショナルギフトショーにおいて、静岡挽物のニーズや活用方法について調査を実施した。</li> <li>■ 他都市、他産地の事例を調査研究 堺市への視察を通じて、同市の地場産業に対する支援施策の取組の調査及び現状視察並びに同市の線香と本市の挽物の連携による販売戦略の検討を実施した。(H28.8.1~8.3)</li> </ul>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業界調査の実施 基本計画3年目となり、業界の高齢化等、変化も激しいことから、業界への聞き取り調査を行い、業界の現状、要望等を把握する。</li> <li>■ 後継者育成事業の充実 後継者育成支援(クラフトマンサポート事業)においては、平成29年度、雇用奨励金事業を新設。若手職人の業界への定着を目指す。</li> </ul>		
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度		
事業	事業名	(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>この事業は、市内外から優秀な人材を確保して、市内ものづくり産業への就業を促進させるとともに、中小製造事業者が抱える課題等の解決に関して、インキュベーター機能を含めた大学等の研究開発機関の立地を検討します。</p> <p>検討にあたっては、静岡商工会議所製造業部会等と連携を図り、地元製造業界におけるニーズの把握をはじめ、立地ビジョン等の作成を進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■地元製造業者に対する工学部シーズの紹介 静岡大学工学部等の持つシーズを地元製造業者に紹介する説明会の開催を検討。</p> <p>■高等教育のあり方の検討 静岡市立大学の設置可能性、また理工系大学・学部の新設・誘致を含め、本市における高等教育のあり方について今後検討することとする。</p>
				進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する		事業結果	<p>■地元製造業者に対する静岡大学工学部等のシーズ説明会の開催 静岡大学工学部等の持つシーズを地元製造業者に紹介する説明会を平成29年2月に市内で開催した。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所との連携の継続実施 地元製造業界におけるニーズの把握と実現に向けた検討については引き続き静岡商工会議所と連携しながら実施する。</p> <p>■地元製造業者に対する工学部シーズの紹介 地元製造業者に対する工学部シーズを紹介する説明会については引き続き実施する。</p>	
基本方針						
基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 19-1	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度				
	事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸界の連携事業) (事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)		予算額	1,890千円			
				決算見込額	1,759千円			
	事業概要	この事業は、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの伝統工芸分野に関して、伝統工芸界が後継者の育成を図り、伝統工芸技術の保存伝承及び技術の研鑽を実施します。市においては、こうした伝統工芸界の活動を支援していきます。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹干筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成28年5月10日(火)～9月27日(火) 18日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p> <p>②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成28年9月26日(月)～11月21日(月) 7日間 受講生：木工関連業界関係者5人程度(予定)</p> <p>③竹干筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹干筋細工) 期間：平成28年10月4日(火)～12月13日(火) 11日間 受講生：竹業界後継者9人程度(予定)</p> <p>④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成28年6月30日(木)～12月8日(木) 17日間 受講生：木工家具関連業界関係者8人程度(予定)</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月11日(火)～平成29年3月7日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人程度(予定)</p>		
		補足事項			進捗率等	H28.9.1 現在	(受講者数) 9人 30(%)	
	H29.3.31 現在				(受講者数) 39人 130(%)			
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		事業結果	事業評価	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹干筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成28年5月10日(火)～9月27日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p> <p>②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成28年9月26日(月)～11月21日(月) 8日間 受講生：木工関連業界関係者8人</p> <p>③竹干筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹干筋細工) 期間：平成28年10月4日(火)～12月13日(火) 11日間 受講生：竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成28年6月30日(木)～12月8日(木) 17日間 受講生：木工家具関連業界関係者4人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月11日(火)～平成29年3月7日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者10人</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			事業結果	事業評価	<p>■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマン サポート制度で研修中の若手にも引き続き参加を呼びかけていくことで業界内の若手ネットワーク構築を図る。 漆器講習会等では木工従事者にも参加を呼びかけ、引き続き木工業界と漆器業界の若手の交流を図っていく。 また技術を保持しながらも、家庭の事情等で一時製造から遠ざかっていた人材にも呼びかけ、後継者育成を確実化する。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部等において作品展を開催するなどして、参加者の意欲を喚起していく。</p>
		大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
		中施策	次代を担う多様な人材の育成					
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			<p>■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマン サポート制度で研修中の若手にも引き続き参加を呼びかけていくことで業界内の若手ネットワーク構築を図る。 漆器講習会等では木工従事者にも参加を呼びかけ、引き続き木工業界と漆器業界の若手の交流を図っていく。 また技術を保持しながらも、家庭の事情等で一時製造から遠ざかっていた人材にも呼びかけ、後継者育成を確実化する。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部等において作品展を開催するなどして、参加者の意欲を喚起していく。</p>		
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他(特記事項)						

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度	
事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	予算額		6,600千円	
		決算見込額		5,400千円	
事業概要	この事業は、伝統工芸分野への新規就業を促進するため、市の財政的支援のもとで、伝統工芸業界が率先して、短期及び長期の現場実習に取り組みます。また、ものづくりで生計を志す者への独立支援については、市が工房等の賃貸料を助成していきます。	取組状況	H28.9.1 現在	(1)地域産業現場実習短期支援者数 1名 (2)地域産業現場実習長期支援者数 4名 (3)地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
				補足事項	進捗率等
H29.3.31 現在	(短期支援) 1人 (短期支援) 50.0 (長期支援) 4人 (長期支援) 200.0 (%) (独立支援) 2人 (独立支援) 200.0				
成果目標	制度活用者数(人) 短期支援2人/年、長期支援2人/年 独立支援1人/年 (各人数は		事業結果	(1)地域産業現場実習短期支援者数 1名 (2)地域産業現場実習長期支援者数 4名 (3)地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 商工・物流	大施策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
産業振興プラン位置付け	政策方針 商工・物流	大施策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	中施策 次代を担う多様な人材の育成		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)		

事業 19-3	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度			
	事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	若手職人への教育については、市と伝統工芸業界が連携を図る中、地元の職人によって、本市の固有技術に関する教育を基本として実施します。 また、顧客ニーズに基づいて、商品の付加価値を高めるためには、熟練度の向上とともに、工芸、美術、造形をはじめ、デザイン力などの高度な専門知識が必要となります。 こうしたアカデミックな側面からの教育については、これまでの生産活動に異なる発想や技術等が加わり、新たな価値を生み出す生産活動への向上が期待されます。よって、若手職人が、高度な専門分野を学習できるように大学への進学に向けた支援を検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	■首都圏大学の講師招聘による研修の模索 後継者である若手職人が首都圏の美術大学の講師に直接指導を受け、デザインや技術、流通の専門知識に触れてもらう場を提供するため、講師への協議を実施中。	
				進捗率等	H28.9.1 現在	産地内現状調査実施	0(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	大学講師による指導会の実施	- (%)
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	事業 評 価	■業界ニーズの確認と首都圏美術大学への派遣依頼 前回調査で、具体的なニーズは確認されず、制度的にも困難であることが判明したため、首都圏の美術大学からの指導者の派遣を検討した。  ■大学教授による指導会の実施 武蔵野美術大学教授(デザイン)に来静してもらい、地元若手職人等を対象にトーク形式による指導会を実施し、研修の場を提供した(「ものづくり・相談支援事業」中での実施)。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■職人等の大学進学は困難であることが判明しているため大学講師招聘による研修の場を設定した。今後は実際に他産地や他都市がそのような事業を実施しているかについての調査研究も行っていく。			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度	
事業名	(事業20) 高校生のインターンシップ事業	予算額		990千円	
		決算見込額		422千円	
事業概要	<p>この事業は、高校生が在学中に就業体験を行うインターンシップ制度の普及啓発に取り組みます。</p> <p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入可能事業所の新規開拓とともに、希望校(生徒)が実施期間や職種を選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>	取組状況	H28.9.1現在	<p>■対象 市内高校に通う生徒</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 81人</p> <p>■受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 15事業所</p> <p>■今後の予定 引き続きインターンシップ実施校のアフターフォローや受入可能事業所の新規開拓等を行っていく。</p> <p>※H28.10.31(中間報告)時点</p>	
			補足事項	進捗率等	H28.9.1現在
			H29.3.31現在	実施生徒数 81人	162(%)
成果目標	H27 50人/年 H28 50人/年 H29 50人/年 H30 50人/年 計		事業結果	<p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 81人</p> <p>■受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 35事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高等学校全校(27校)</p> <p>■執行額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 421,200円</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流分野		事業評価	
	大施策	4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	価値		
	中施策	2 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
産業振興プラン位置付け	基本方向		目標人数50人を上回る結果となった。  今後も、各校の実情、ニーズに沿った事業を展開し、高校生の地元就職、及び進学後のUターン就職に向けた種まきとして、より効果の高い方法を検討していく。		
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他(特記事項)		

事業 21	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度			
	事業名	(事業21) ものづくり体験・学習機会の提供		予算額	5,927千円		
				決算見込額	5,923千円		
	事業概要	この事業は、広く市内の方々に対して、本市の伝統工芸の魅力を知ってもらうため、駿府匠宿の体験工房（駿河竹千筋細工、駿河和染、駿河指物など）への参加者増加の方策を検討します。 また、体験工房以外においても、伝統工芸を含む地場産業を幅広くPRするとともに、広く市内の方々に向けて学習機会を提供し、本市地場産業の周知と理解促進に努めます。		取組状況	H28.9.1 現在	■地場産品体験学習事業の実施 市内の小学校に通学する4年生が社会科事業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験をする場合、申請によりその利用に要する費用の一部を本市が支援している。（補助金額：児童1人につき1,740円を限度） 9月下旬以降に順次、創作体験を実施予定。	
		補足事項	「駿府匠宿」の体験工房における創作体験（駿河竹千筋細工、駿河和染、陶芸等）を通じて、本市地場産品を学習する機会を提供し、地場産品ともものづくりに対する関心と理解を深めるとともに、次代を担う人材として伝統工芸業界への興味を喚起します。		進捗率等	H28.9.1 現在	駿府匠宿体験学習利用児童数 0人 0(%)
						H29.3.31 現在	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,275人 90.9(%)
	成果目標	駿府匠宿体験学習利用児童数(人) 3,600人/年		事業結果	事業	■地場産品体験学習事業の実績 ・参加学校数：49校 ・利用児童数：3,275人  例年のとおり小学校の授業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験を実施し、子どもたちにもものづくりに対する関心と理解を深めることができた。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	03 商工・物流				
		大施策	04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	産業振興プラン位置付け	中施策	01 次代を担う多様な人材の育成	事業	評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
政策方針		03 商工・物流					
大施策		04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
担当課等	政策方針	01 次代を担う多様な人材の育成	その他(特記事項)				
	中施策	01 次代を担う多様な人材の育成					
経済局商工部 産業振興課 地場産業係							